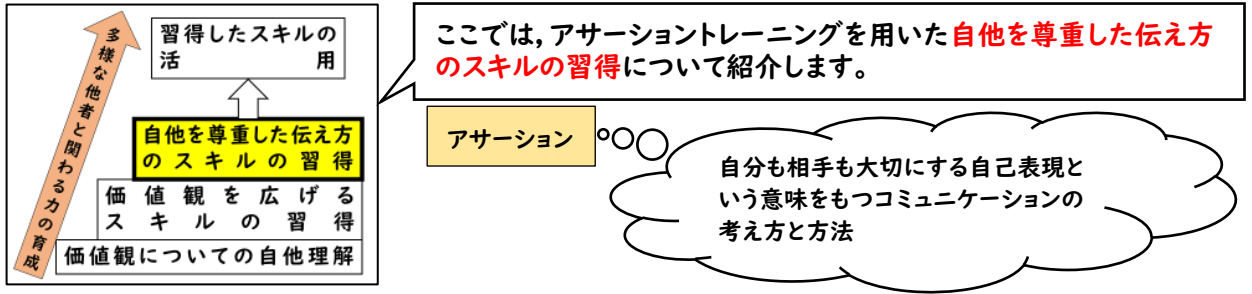


自分の考えを整理・深化させる活動の工夫

他者の目を気にし過ぎて自分の考えを伝えることが苦手な生徒や、「悪口を言われている」、「嫌われている」などの思い込みから脱却できずに、考え方の視野が狭くなり、他者との関わりに悩んでいる生徒はいませんか？

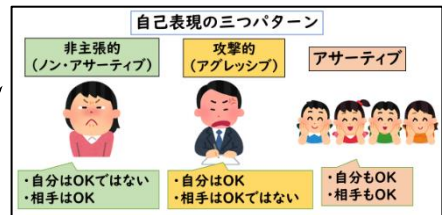
自他の価値観の違いを理解し、視野を広げた上で自分の考えを伝えることができるようにすることで、多様な他者と関わる力を育成したいと考え、下の図のような段階的な活動を構想しました。今回は、自分も相手も大切に自己表現を学び、自他を尊重した伝え方のスキルを習得するための実践を紹介します。



1 自己表現の三つのパターンを理解する。

「あなたならどうする？」
ラーメン屋さんで「みそラーメン」を注文したら、「しょうゆラーメン」が出てきました。
店員さん（にこにこしながら）「しょうゆラーメンです。」私「」

- ①注文と違うものが出てきたとき、どうするかを考える。
- ②普段の自分の表現方法はどのパターンに近いかを考える。



ポイント！ 非主張的な自己表現と攻撃的な自己表現にはデメリットがあることに気付かせることで、アサーティブな表現方法のよさに気付くきっかけをつくります。

2 アサーティブな表現方法を考える（依頼を断る場面）。

テスト期間中のお話です。友達から「分からないところを教えて欲しいから、学校に残って一緒に勉強しよう!」と言われましたが、あなたは家に帰って1人で集中して勉強したいので、断りたいと思っています。

- ①ペアで協力してアサーティブな表現方法を考える。
- ②ロールプレイを行い、自分たちが考えた表現を別のペアに伝える。

「ごめん。家で1人で集中して勉強したいから一緒にできない。でも、9時くらいからなら大丈夫だから分からない所があったら、連絡して〜!」

自分も OK
相手も OK

ポイント！ 自分も相手も大切にしている表現であるかをペアで十分に検討して表現方法を考えさせ、考えた表現が別のペアに伝わるかをロールプレイで確認させます。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善のポイント

- アサーティブな表現を考える活動では、実態に即した場面を設定することで、生徒が主体的に考えることができるようになります。
- ペアで考えることで、個人で考えるよりもよりアサーティブな表現に練り上げることができ、アサーティブな表現を体験的に理解できるようになります。
- ロールプレイで別のペアに伝わるかを確認することで、自分たちが考えた表現がアサーティブな表現方法になっているかを客観的に判断することができ、自他を尊重した伝え方のスキルの習得につながります。

授業改善の工夫	自分の考えを整理・深化させる活動の工夫
---------	---------------------

高等学校 LHR 学習指導案	
単元名	多様な他者と関わる力の育成 (総時数 6時間)
単元のねらい	自他の価値観の違いを理解し、視野を広げた上で自分の考えを伝えることができるようにすることで、多様な他者と関わる力を育成できるようにする。 【学習指導要領との関連】 (2) 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 自他の個性の理解と尊重、よりよい人間関係の育成 自他の個性を理解して尊重し、互いの良さや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくること。
単元の流れ	第1時「価値観についての自他理解」 第2時「価値観を広げるスキルの習得」 第3時「自他を尊重した伝え方のスキルの習得」【事例有】 第4時「対話活動における習得したスキルの活用」 第5時「対話活動における習得したスキルの活用」 第6時「対話活動における習得したスキルの活用」
準備物	ワークシート, 振り返りシート

本時のねらい (第3時)

<ul style="list-style-type: none"> ・三つのタイプの自己表現 (非主張的・攻撃的・アサーティブ) からアサーティブな自己表現を体験的に理解する。 ・アサーティブな表現方法で適切に自分の気持ちや考えを伝えることができる。
--

生徒に示す本時のねらい

<ul style="list-style-type: none"> ・三つのタイプの自己表現 (非主張的・攻撃的・アサーティブ) からアサーティブな表現方法のよさを気付き、理解する。 ・アサーティブな表現方法を考え、自分の気持ちや考えを適切に伝えることができるようにする。

学習過程

段階	学習内容・生徒の活動	時間 (分)	○指導上の留意点等 ◆評価
導入	<p>1 「あなたならどうする？」を考える。</p> <p>(1)ワークシートを見て、普段の自分ならどうするか考え、記入する。</p> <p>(2)自分の考えを発表する。</p> <p>(3)三つの表現方法（非主張的・攻撃的・アサーティブ）を理解する。</p>	10	<p>○自分の行動や心の中の声でもよいということを伝える。</p> <p>○三つの表現方法を伝え、非主張的な自己表現と攻撃的な自己表現のデメリットについて気付かせる。【ポイント】</p> <p>○アサーティブな表現ができるようになるための練習をしていくことを伝える。</p>
展開	<p>2 アサーティブな表現方法を考える。</p> <p>(1)設定された二つの場面において、ペアで協力してアサーティブな表現方法を作り出す。</p> <div data-bbox="245 896 759 1252" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>二つの場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 依頼を断る場面 →テスト期間中に一緒に残って勉強しようと言われたが断りたい。 ・ 依頼する場面 →前に貸した100円を返してほしいと声をかける。 </div> <p>(2)ロールプレイを行う。</p> <p>①4人グループを作る。</p> <p>②ロールプレイを行うペアと観察するペアに分かれて行う。</p> <p>③観察者が表現方法について感想を述べる。</p> <p>④交代して②、③を行う。</p> <p>⑤感想を発表する。</p>	25	<p>○アサーティブな表現方法を作り出し、声に出して伝え合いながらよりよい表現を考えるように伝える。【ポイント】</p> <p>○作り出すときの確認事項をスライドで示し、意識させるようにする。</p> <div data-bbox="919 943 1401 1196" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作り出すときの確認事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分も相手も大切にしているか。 ・ 自分の主張だけ通そうとしていないか。 ・ 自分は我慢していないか。 </div> <p>○伝える相手が変わっても、アサーティブな表現として受け止められているかを確認するように伝える。【ポイント】</p> <p>◆アサーティブな表現で他者に自分の気持ちや考えを適切に伝えることができる。【思考・判断・表現】（発表）</p>
まとめ	<p>3 本時の学習内容を振り返りシートに記入する。</p>	15	<p>○振り返りシートに記入することで、本時のねらいが達成できたか確認させる。</p> <p>◆アサーティブな表現方法を体験的に理解している。【思考・判断・表現】（振り返りシート）</p>